

体位変換器 / 体圧分散式エアマットレス

スモールチェンジ ラグーナ

SMALL CHANGE

LAGUNA

# 取扱説明書 —保証書付—

この度はスモールチェンジラグーナをお買い求めいただきありがとうございます。

## 必ずお読みください

スモールチェンジ ラグーナについて	P. 2
安全にお使いいただくために ■重要安全情報 ■安全上のご注意	P. 4
設置の前に ■取扱説明書の見方 ■梱包内容の確認 ■各部の名称	P. 7
すぐ使いたい時に (設置手順早見表)	P. 9
設置をしましょう	P.10
実際に使用しましょう(通常時) ■かんたんモード ■体重設定	P.14
実際に使用しましょう(各種モード時) ■スモールチェンジモード ■キーロック機能 ■自動ヘッドアップ機能 ■CPR対応機能 ■圧切替設定 ■メモリ機能 ■クイックハードモードの設定 ■設定リセット機能 ■安全お知らせ機能 ■停電時の対応方法	P.15

## 必要に応じてお読みください

お手入れ方法	P.19
点検ポイント	P.22
保管・破棄方法	P.23
故障かな?と思ったら...	P.24
アフターサービスについて	P.26
仕様 / 関連商品	P.27
保証書(裏表紙)	P.28

## 取扱説明書について

- スモールチェンジラグーナのご使用に先立って、この取扱説明書を初めから最後まで必ずお読みください。
- いつでも読み返すことができるように、本書をスモールチェンジラグーナのそばに保管してください。
- 本書の最終ページは保証書になっています。

# スモールチェンジ ラグーナ について

スモールチェンジラグーナは、厚さ11.5cmの新形状エアセル“トリプルフィットセル”と2cmのベースマットレス、新機能のスモールチェンジ用エアセル、電子制御の専用ポンプから構成されており、「自動体位変換機能」、「高い体圧分散性能」、「安定感」を兼ね備え、床ずれ発生リスクの高い療養者に対応できる高機能タイプの自動体位変換エアマットレスです。

## スモールチェンジラグーナのご使用に際して

ご使用に際しては、専門家と相談の上、ご使用ください。  
また、使用中に療養者の身体に異常が生じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。

### ■ご理解いただきたいこと

スモールチェンジラグーナは、エアセルの圧切替とスモールチェンジ機能による自動体位変換により、床ずれを防止しようとする補助具です(医療機器ではありません)。そのため、療養者の全身状態や様々な状況によっては、適切にご使用いただいても床ずれを防止できないことがあります。これらのことをご理解いただき、ご使用くださいますようお願いいたします。

## 特長

### ■ 総厚13.5cm、完全独立2層式 “トリプルフィットセル”

マットレス表面の凹凸を減らし、更なる安定感を実現した新形状エアセル“トリプルフィットセル”と新機能スモールチェンジ用エアセルを搭載した厚さ13.5cmのエアマットレス。

※スモールチェンジ動作時 厚さ:18.5cm

### ■ 療養者の個々の状態に対応する各種機能

#### 1. スモールチェンジモード

マットレス内部のスモールチェンジ用エアセルの膨張収縮(約15分間隔)により、療養者を大きく傾けない「小さな体位変換」を行います。

※体位変換を不要とする機能ではありません。

#### 2. かんたんモード

かんたんモードでは、エアマット利用者の半数以上を占める体重40～60kgの方全てに対応。ワンタッチで自動的にマットレスの内圧調整ができます。

#### 3. 自動ヘッドアップ対応機能

マットレスに内蔵したセンサがヘッドアップ角度を検知。角度に応じて、マットレス内圧や動作を最適な状態に自動調整します。

#### 4. クイックハードモード

約4分でエアセルの内圧を高めて静止します。安定床面が必要なシーンに迅速に対応します。

#### 5. 圧切替

圧切替ONでは体重設定に合わせた適正内圧で、エアセルが三連圧切替で膨張収縮を繰り返し、圧力を順次開放。全体の2/3の広い面積で支えます。圧切替OFFではエアセルの膨張収縮動作が停止し、圧切替え時の違和感を解消。膨張収縮が気になる方、安静管理が必要な方にもお使いいただけます。

#### 圧切替ON + スモールチェンジモードON

トリプルフィットセルの膨張収縮とスモールチェンジ用エアセルの動作を併用するこの設定が、体圧分散性能を最大限に発揮できます。

### ■ 制菌加工を施した専用カバー

カバーには、制菌加工(SEK赤ラベル相当)を施し、菌の繁殖を抑えます。また、療養者の虚弱な皮膚を保護する伸縮性の高い生地を使用したルーズフィット仕様です。

### ■ 体重設定20kg～120kg

体重設定は20kgから5kg刻みで、120kgまで設定が可能です。

### ■ 安全性を高める4つの機能

#### 1. 安全お知らせ機能

動作状況が遠方からでも確認できる光サインをポンプ前面から側面に配置。異常時には赤ランプと警告音でお知らせします。

#### 2. 停電対策機能

停電と同時に特殊なバルブがエアセル内の空気漏れを自動で遮断。マットレス全体の内圧を約14日間保持します。

#### 3. CPR対応機能(緊急時エア排出機能)

カバーを外して約25秒以内に背部を底つき状態にすることが可能。心肺蘇生時に安定床面を確保します。

#### 4. キーロック機能

全てのボタン操作にロックがかかり、お子様や認知症の方などによる誤操作を防ぐことができます。

### ■ その他の機能

#### メモリ機能

コンセントから電源プラグの抜き差しを行った場合でも、直前の設定に復帰します。

#### 設定リセット機能

メモリされた設定を初期設定にリセットします。

# 安全にお使いいただくために

スモールチェンジラグーナの取り扱いにあたっては本書をよく読んでご理解いただき、必ず本書の指示に従ってください。

## 重要安全情報

スモールチェンジラグーナのご使用中に生じる可能性のある危険を回避するためには、その原因となる要素がどこにあるかを、予め知っておくことが不可欠です。しかし当社において、潜在的なあらゆる危険性を予想することは困難です。従って、本書には知り得る限りの安全に関する警告情報を、下記のように定義し記載してあります。



警告:このマークにある指示に従わなかった場合に、物的損害や負傷、死亡につながる恐れのある危険性を警告しています。特に重要なため、下記「安全上のご注意」にまとめて記載し、警告します。



注意:このマークにある指示に従わなかった場合に、本製品が正常に機能しなくなる可能性を警告しています。

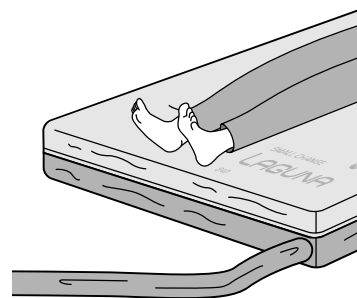
## 安全上のご注意〈警告〉



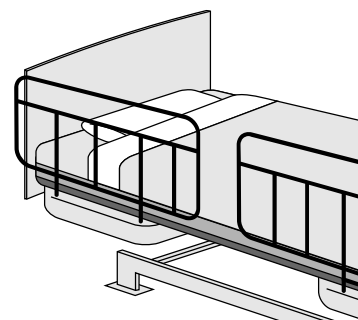
スモールチェンジラグーナのご使用に際しては、必ず専門家と相談の上、ご使用ください。また使用中に身体に異常を感じたり、不安を感じた場合は直ちに使用を止め、専門家に相談してください。症状悪化や事故の恐れがあります。



送風チューブが必ず足側になるようにスモールチェンジラグーナを設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。



スモールチェンジラグーナのご使用に際しては、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。



## 警告 4

スモールチェンジラグーナの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。またエアマットレスの上で立ち上がったり、膝立ちしたりしないでください。局所に高い圧力がかかり続けるとエアセル破損の危険があります。

## 警告 5

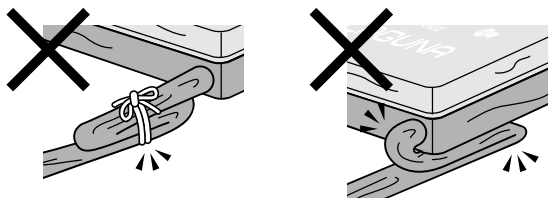
スモールチェンジラグーナの上で端座位や移乗する際には、必ず補助の方の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。

## 警告 6

スモールチェンジラグーナの上での喫煙はお止めください。火災の原因等になることがあります。

## 警告 7

送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマットレス内に送り込まれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。



## 警告 8

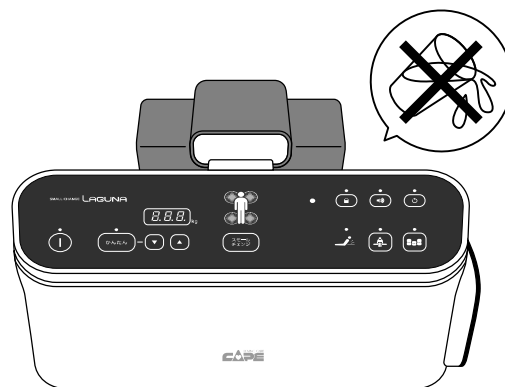
二人以上で使用しないでください。落下・転落を招く恐れがあり、事故の原因になります。また本来の性能を発揮できない恐れやマットレス破損の原因になります。

## 警告 9

スモールチェンジラグーナ専用ポンプをフットボードに掛けて使用する場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。ケガの原因になることがあります。また専用ポンプの操作パネル部に足をかけたり、掛け布団などがかかると思わぬボタンの誤操作の原因となりますので、専用ポンプの上に物を置かないでください。

## 警告 10

スモールチェンジラグーナ専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、スモールチェンジラグーナ専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因になります。



**注意** 直射日光の当たる場所、高温多湿な場所を避け、湿気がこもらないよう壁から5cm以上離して設置してください。

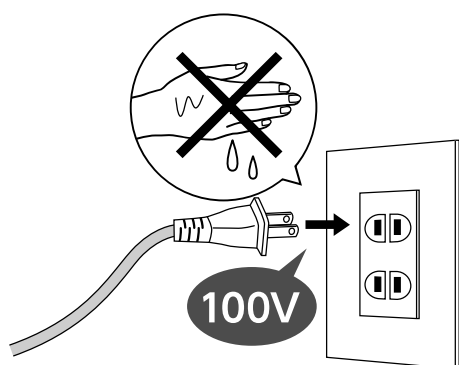
## 警告 11

ご自分で修理するためにスモールチェンジラグーナ専用ポンプのネジを取り外し、ケースを開けることは絶対にしないでください。感電事故や故障の原因となります。また専用ポンプを当社に承諾無しに改造したりすることは、安全上重大な影響を及ぼす恐れがあります。決してお客様による改造は行わないでください。



## 警告 12

スモールチェンジラグーナ専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V/50Hz/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因となります。



## 警告 13

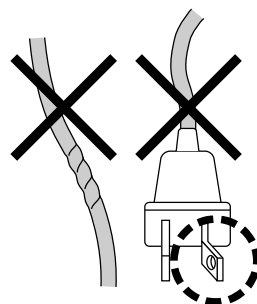
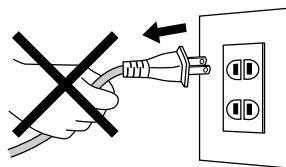
スモールチェンジラグーナのマットレスと専用ポンプ以外の組み合わせでは、絶対に使用しないでください。期待した効果が得られないばかりか、火災事故や故障の原因となります。

## 警告 14

スモールチェンジラグーナを長期間使用しないときやスモールチェンジラグーナ専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。

## 警告 15

スモールチェンジラグーナ専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。



## 取扱説明書の見方

- 必ず、初めから最後まで通してお読みください。
- 各説明には以下の3つのマークがあり、それぞれ詳しい情報が記載されています。必要に応じて参照してください。

### ■ 説明 ■

準備や操作の指示内容について、その必要性を説明しています。

### ■ 確認 ■

準備や操作の指示内容について、それが指示通りにできたかを確認する方法を説明しています。

### ■ 工夫 ■

ちょっとした工夫で、準備や操作がより効率的になるアイデアを説明しています。

- 使用を開始してからも、困ったこと、わからないこと、不安なこと等が生じた場合には直ちに使用を止め、P.24～25「故障かな?と思ったら…」を参照し、解決のための情報を得てください。故障でない場合、その問題についての参照ページが記載されています。
- 上記の方法で解決が得られない場合は、裏面の保証書をご覧ください。お買い上げになった販売店、もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください。
- スモールチェンジラグーナ専用ポンプ及び専用マットレスは本書において、「専用ポンプ」「専用マットレス」と表記いたします。

## 梱包内容の確認

- お手元にお届けした梱包には、以下のものが入っています。ご確認ください。

専用マットレス(専用カバー付属)…×1

専用ポンプ…×1

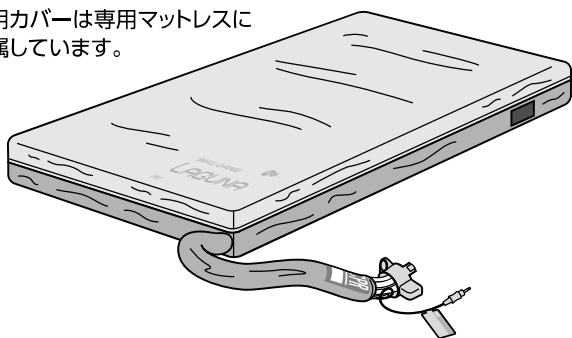
ポンプフック…×1

取扱説明書(保証書付/本書)…×1

取扱説明簡易カード…×1

### 専用マットレス

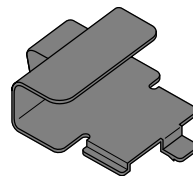
専用カバーは専用マットレスに付属しています。



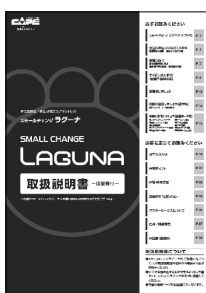
### 専用ポンプ



### ポンプフック

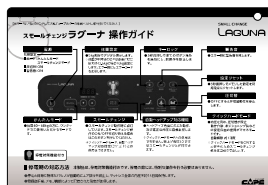


### 取扱説明書



### 取扱説明簡易カード

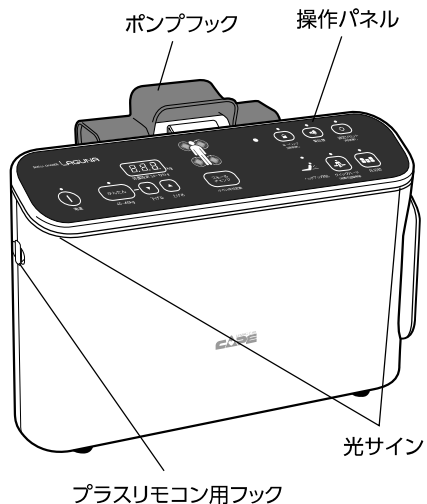
付属バンドにて、送風チューブカバーの黒いベルトに取り付けてください。



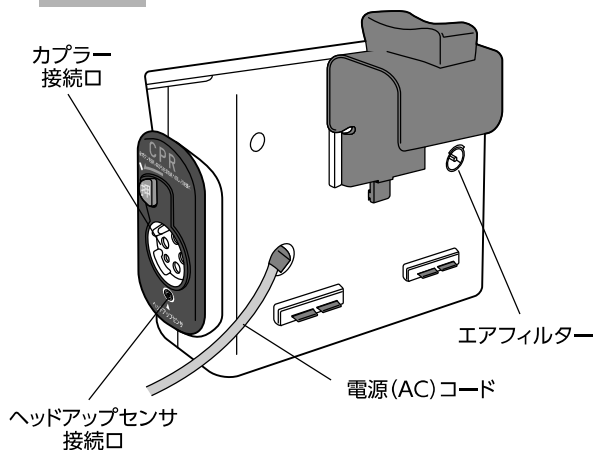
## 各部の名称

### 専用ポンプ

#### ■ 前部

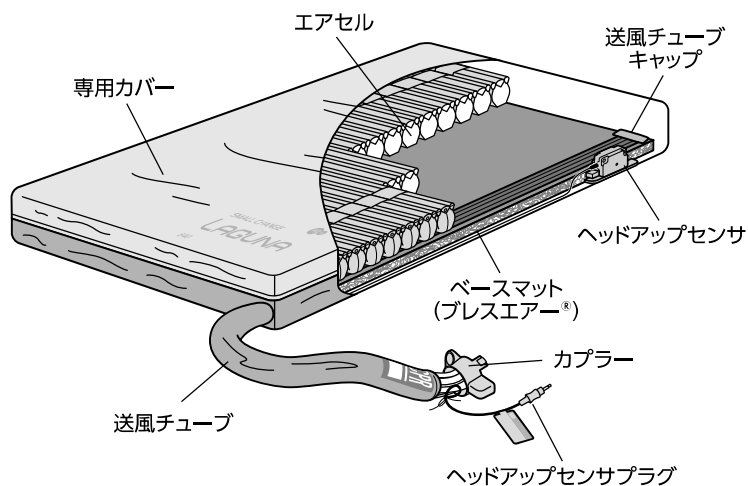


#### ■ 後部

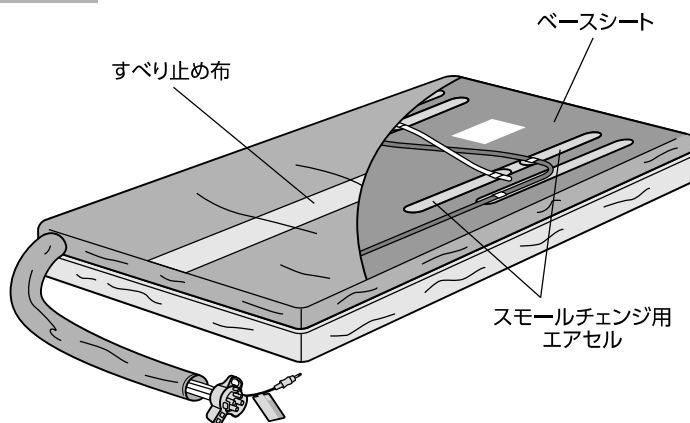


### 専用マットレス(専用カバー付属)

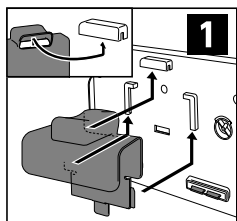
#### ■ 表面



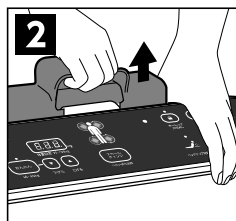
#### ■ 裏面



### ポンプフックの取り付け方

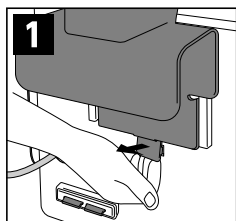


1  
ポンプのレール部とフックの肩部の位置を合わせます。

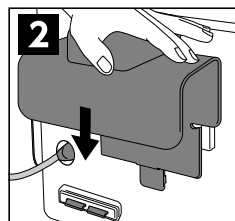


2  
フックを「カチッ」と音がするまで上へスライドさせます。

### ポンプフックの取り外し方



1  
ポンプを立てたまま、つめの部分を前方に持ち上げます。



2  
つめを持ち上げたままフックを下に押し込むようにスライドさせ、取り外します。



注意

つめの部分を持ち上げる際は、指を挟まないように注意してください。



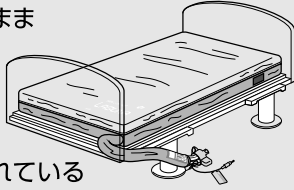
# すぐ使いたいときに(設置手順早見表)

## 1 専用マットレスをベッド上に設置します

- ベッドの上にそのまま敷いてください。

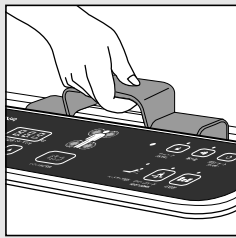
### ■ 確認 ■

- ロゴマークが印刷されている面を上を設置してください。
- 送風チューブがある方が、必ず足側になるように設置してください。  
※送風チューブは巻き込まないこと。



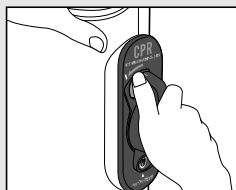
## 2 専用ポンプを正しく設置します。

- フットボードのあるベッドをご使用の場合、ポンプフックを引っ掛けて設置してください。
- フットボードがない場合は床などの水平な場所に置いてください。



## 3 専用ポンプにカプラーを接続します。

- 専用マットレスのカプラーをカプラー接続口に正しく接続し、ヘッドアップセンサのプラグを差し込みます。



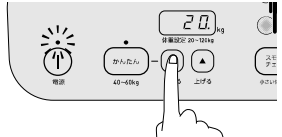
▶詳しい接続方法はP.12

## 4 電源プラグをコンセントにつなぎます。

- 自動で電源が入ります
- 電源ランプ、光サインの点灯をご確認ください。

初期設定 モード:かんたんモード、  
スモールチェンジモード、  
圧切替:ON 警告音:ON

## 5 療養者の体重に設定します。

療養者の体重	
40~60kgの方	40~60kg以外の方、または体重設定を使用される方
かんたんモードでそのままお使いいただけます。	●体重設定ボタンを押し、療養者の体重に合わせます。 

設定後約30分で使用可能となります。

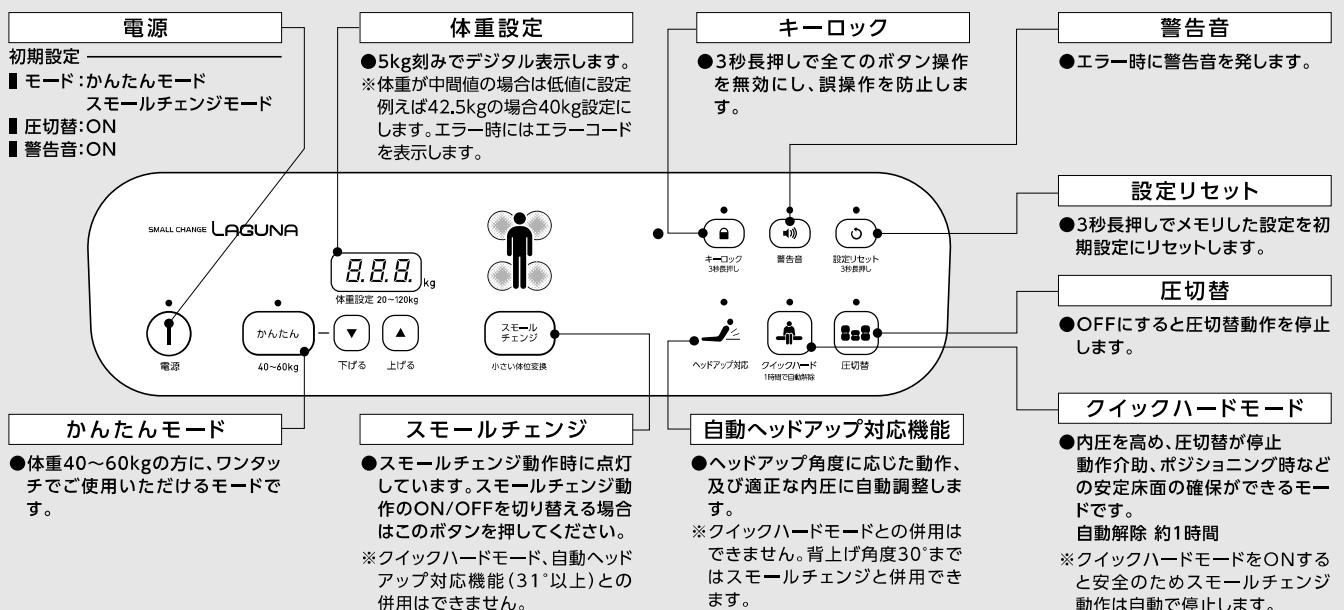
## 6 療養者に寝てもらいます。

## 7 療養者の状況に応じて各種設定を変更できます。

- 通常は三連圧切替による膨張収縮を行います。
- 必要に応じて各種モードのボタンを押してください。

**圧切替OFF(静止)** 圧切替えが気になる方、安静管理が必要な方に  
**クイックハードモード** 動作介助やポジショニングなどのベッド上でのケア時に

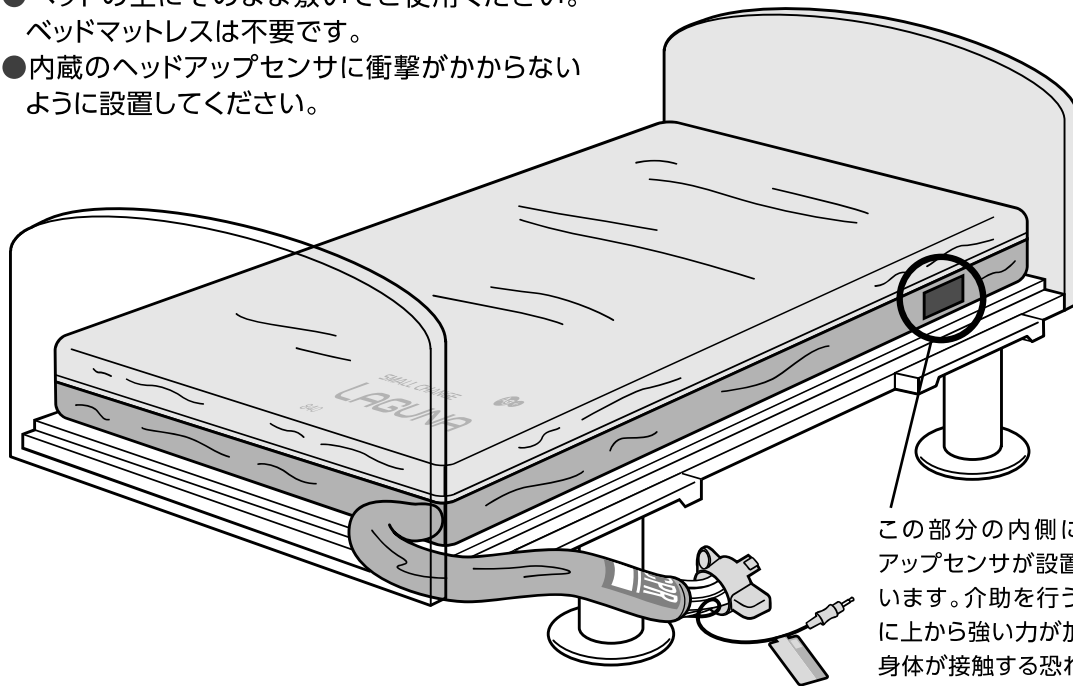
## 操作パネルボタン説明



## 1

### 専用マットレスを設置します。

- ベッドの上にそのまま敷いてご使用ください。ベッドマットレスは不要です。
- 内蔵のヘッドアップセンサに衝撃がかからないように設置してください。



この部分の内側にヘッドアップセンサが設置されています。介助を行う際に上から強い力が加わると身体が接触する恐れがありますので注意してください。



送風チューブは必ず足側になるように専用マットレスを設置してください。送風チューブが頭側になると、送風チューブが首にからんで重大な事故を招く恐れがあります。



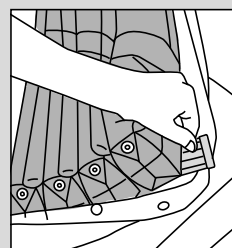
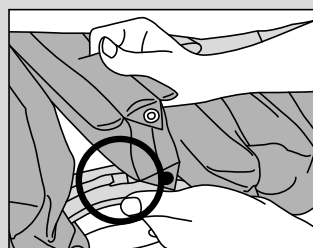
- 専用カバーは必ず装着してご使用ください。外してご使用になるとエアセルやベースシートに埃等が溜まり、汚れやカビ発生の原因となります。またエアセル保護のためにも必要です。
- 専用マットレスに内蔵されているヘッドアップセンサに強い衝撃を与えたり、水濡れをさせたりしないでください。故障する恐れがあります。
- カプラーとヘッドアップセンサプラグに強い衝撃を与えないでください。故障する恐れがあります。
- 送風チューブキャップは取り外さないでください。

#### ■ 確認 ■

- ロゴマークが印刷されている面を上を設置してください。
- 送風チューブが必ず足側になるように設置してください。  
※送風チューブは巻き込まないでください。

#### ■ 点検ポイント ■

- 専用カバーを開き、送風チューブにエアセルが接続されているかご確認ください。
- 送風チューブキャップがしっかり差し込まれているかご確認ください。



※送風チューブキャップはエアを抜くための栓ではありません。

## 2

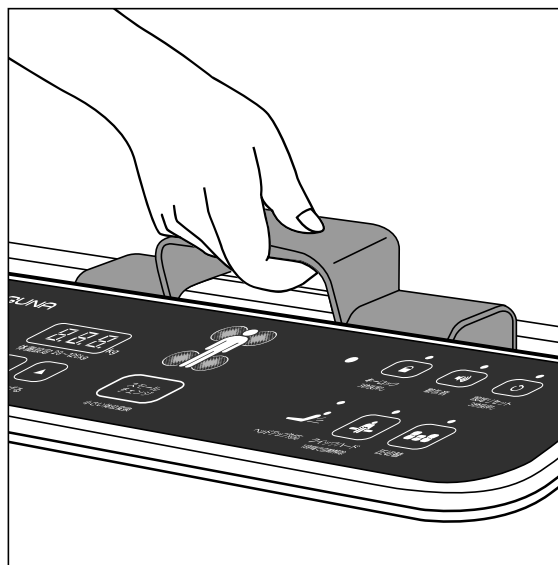
## 専用ポンプを正しく設置します。

## 1 ベッドでご使用の場合

- 専用ポンプのポンプフック前面のくぼみに指を掛けて持ち上げ、ベッドのフットボードの中央部に引っ掛けて設置してください。

## 2 布団や引っ掛ける場所のないベッドでご使用の場合

- 専用ポンプを足側などの邪魔にならない位置の水平で安定した場所に立てた姿勢で置いてください。



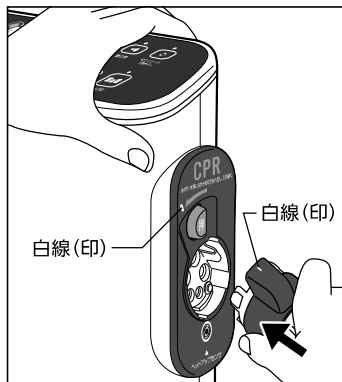
- 送風チューブを束ねたり、専用マットレスの下に巻き込まないでください。送風チューブが折れ曲がったり圧迫されると、空気がエアマットレス内に送り込まれなくなり、エアマットレスとしての期待した効果が得られない恐れがあります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。
- 専用ポンプをフットボードに掛ける場合は、ポンプフックが療養者の足に当たらない位置に設置してください。ケガの原因になることがあります。また専用ポンプの操作パネルに足をかけたり、掛け布団などがかかると思わぬボタンの誤操作やポンプの温度を異常に上昇させる原因となりますので、専用ポンプの上に物を置かないでください。



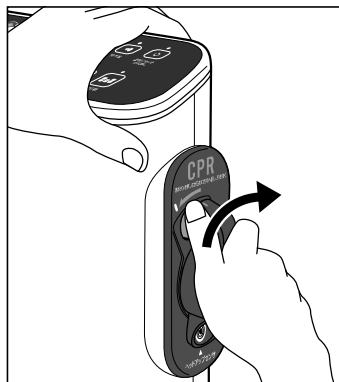
- 専用ポンプはフットボードの中央部に設置してください。端部に設置すると、落下する恐れがあります。
- 専用ポンプをベッドの脚部などに直接触れさせないでください。振動音を発する恐れがあります。また枕元への設置も避けてください。わずかな作動音ですが安眠を妨げる可能性があります。
- ベッド昇降時にフットボードと壁などの間に専用ポンプがはさまれて脱落したり、破損しないよう十分な空間を確保してください。
- 専用ポンプの高さは、25.0cmです。専用ポンプを床に設置する場合、高さ調節のできるベッドのフレームと床との間に挟まれないよう注意してください。ベッドの高さを下げる際、フレームと床の間に挟まり、専用ポンプが破損する恐れがあります。
- 専用ポンプの足ゴムは、プラスチック系床材などの床材に着色移行する場合があります。じかに床へ置く(設置)場合は、足ゴムが床材に直接触れないよう、布や紙を敷いてその上に専用ポンプを置いてください。
- ポンプをフットボードから取り外す際は、ポンプを垂直に引き上げてください。無理な力をかけたり、前方や斜めに引き上げるとポンプフックが破損する可能性があります。

## 3

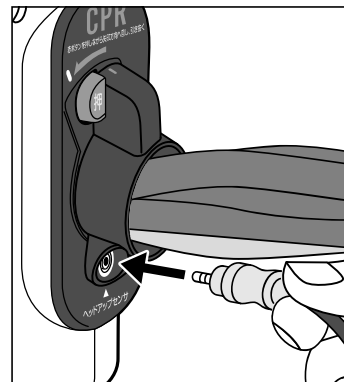
### 専用ポンプにカプラーとヘッドアップセンサを接続します。



カプラーの●印と接続口の●印が合う位置で、カプラーをポンプ側にまっすぐに差し込みます。



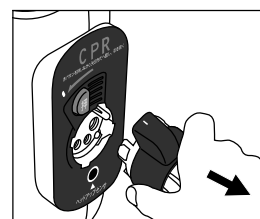
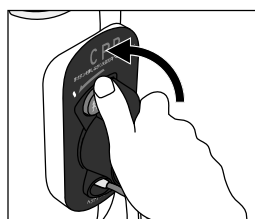
奥まで差し込み、そのまま右(時計回り)に、“カチツ”と音がするまで回転させます。



ヘッドアップセンサの青いプラグをヘッドアップセンサ接続口に差し込みます。

#### 取り外し方法

片方の手で専用ポンプをしっかりとおさえ、もう一方の手で**赤いボタン**を押しながらカプラー部を左回り(反時計回り)に回します。カプラーの●印と接続口の●印が合う位置まで戻し、まっすぐ手前に引き抜きます。ヘッドアップセンサはカプラーと同時に外れるようになっています。



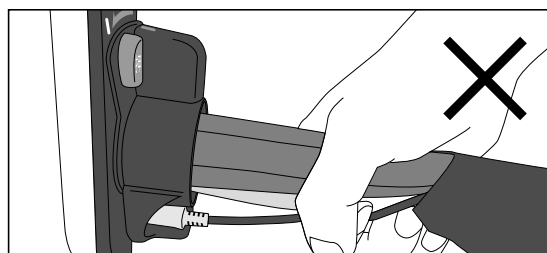
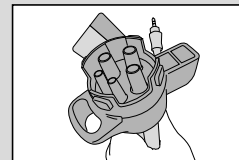
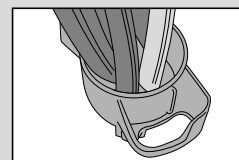
専用ポンプを湿気の多い場所で使用したり、専用ポンプに水や尿などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。感電事故や故障の原因となります。



- 送風チューブが外れないように、カプラーを確実に接続してください。エアセルに空気が送られないと、スモールチェンジラグーナは機能しません。
- ヘッドアップセンサのプラグは、必ず接続してください。接続されていないと、光サインが赤く点灯し自動ヘッドアップ対応機能が作動しません。
- 専用ポンプから専用マットレスを取り外す場合、チューブを引っ張らずに、必ずカプラー部を外してください。

#### ■ 点検ポイント ■

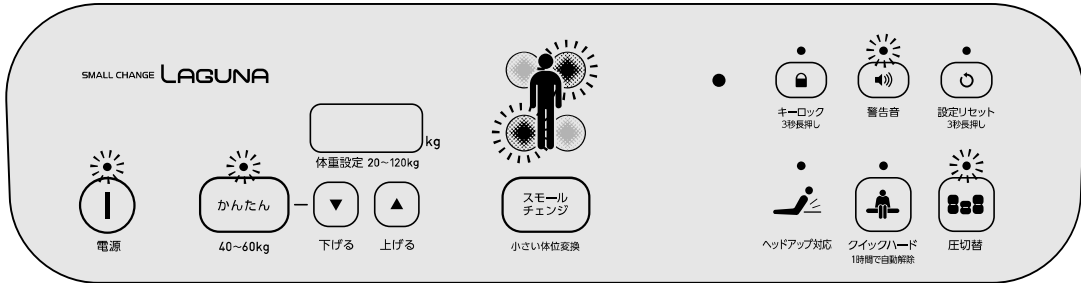
- 送風チューブがカプラー裏にある所定の挿入パイプに差し込まれていることを確認してください。
- カプラーが破損していないか確認してください。



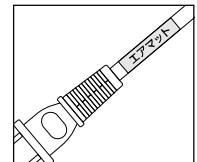
※送風チューブを持って引っ張ることはおやめください。  
※イラストのように引っ張るとヘッドアップセンサの青いプラグを痛め、断線の原因や送風チューブの抜けの原因にもなります。

# 4

## 電源プラグをコンセントにつなぎ、専用ポンプを作動させてエアセルを膨らませます。



プラグには識別しやすいように、「エアマット」の文字入りです。



初期設定	かんたんモード:ON スモールチェンジモード:ON 圧切替:ON 警告音:ON
------	---

- 専用ポンプの電源プラグを、家庭用コンセント(AC100V,50Hz/60Hz)に差し込みます。
- 電源プラグを差し込むと自動で電源が入ります。初期設定では、電源ボタン、かんたんボタン、スモールチェンジボタン、圧切替ボタン、警告音ボタンのランプと光サイン(緑)が点灯します。
- カプラーやヘッドアップセンサを取り付けていない状態で電源プラグをコンセントにつなぐと光サインが赤く点灯し、エラーコードが表示されます。速やかにカプラー、ヘッドアップセンサを接続してください。



専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V,50Hz/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因となります。



専用マットレスに業務用エアコンプレッサー等で急激に空気を入れると、エアセルが破裂する危険があります。専用マットレスに空気を入れる際は、「専用ポンプ」または当社が推奨する「急速ポンプKURO」をご使用ください。空気を入れ過ぎると、エアセルが破損する危険があります。

### ■ 説明 ■

- 一度設定を行った後、電源プラグを抜いたり、電源スイッチを押して電源を切った場合、再度電源を入れると直前の設定に復帰します。 [P.18参照](#)
- 初期状態に戻すには、「設定リセット」ボタンを3秒以上押し続けます。 [P.19参照](#)
- 送風チューブが折れ曲がっていると、専用マットレスに十分な空気が送られません。
- エアフィルターは使用場所の環境にもよりますが、連続使用の場合、1年に1回の交換をお勧めします。 [P.20参照](#)

### ■ 工夫 ■

別売の「急速ポンプKURO」を使うと、より短時間でマットレスを使用可能な状態にできます。

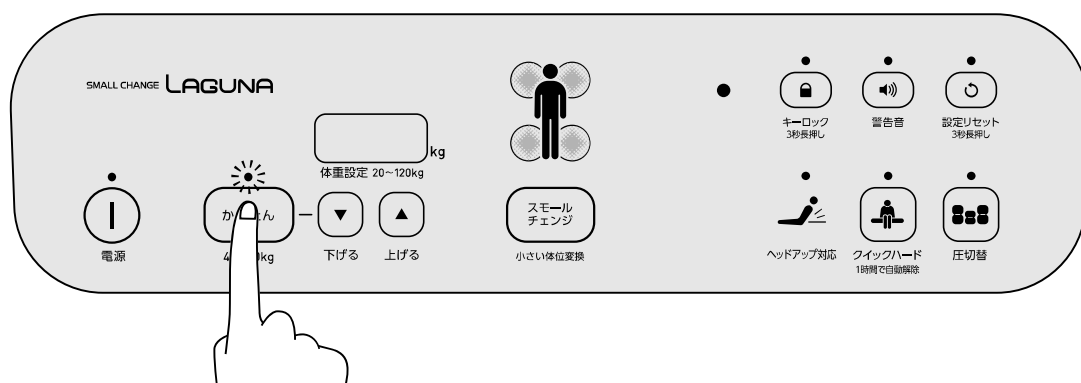
[P.27参照](#)

## 1

### 使用される方の体重を設定します。

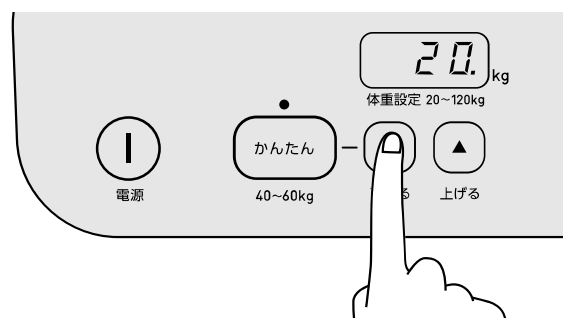
#### ①療養者の体重が40～60kgの場合

- かんたんモードでご使用いただけます。  
初期設定はかんたんモードとなっております。電源を入  
れると約30分でマットレス内に空気が入りますので、そ  
のまま使用可能な状態となります。
- 「かんたん」ボタンのランプ点灯をご確認く  
ださい。  
かんたんモードでは体重設定は表示されません。
- 「体重設定」ボタンでの設定も可能です。そ  
の場合は②の手順で設定してください。



#### ②療養者の体重が40～60kgの範囲ではない場合、または体重設定を使用する場合

- 体重設定表示を見ながら「体重設定」ボタ  
ンで体重を合わせます。
- 1回押すごとに5kgずつ設定が変わります。
- 約30分でマットレス内に空気が入り使用可  
能な状態になります。



#### ■ 説明 ■

準備中、またはモード移行中は体重表示下  
部のドット(.)が点滅します。

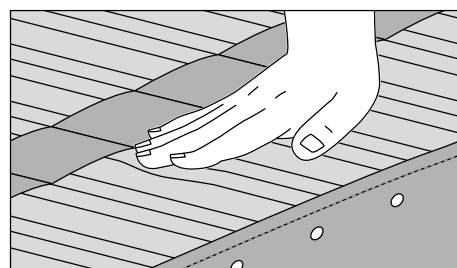
ご使用開始まで **約30分**

設定値は療養者の体重より軽  
い側の一番近い数値に設定  
してください。

例)  
44kgの場合は40kgに設定  
48kgの場合は45kgに設定

## 2

30分後、専用カバーを開き、  
エアセルに空気が入っているか  
確認します。



# 3

## 療養者に寝てもらいます。



- スモールチェンジラグーナをご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取り付けてください。サイドレールを使用しない場合には、ベッドからの落下・転落を招く恐れがあり事故の原因になります。
- 専用マットレスの上で、飛び跳ねないでください。ケガをしたり、破損の原因になります。
- 専用マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず補助の方の立ち会いのもと行ってください。ベッドからの落下・転落を招く危険があります。
- 専用ポンプの操作パネルに足をかけたり、掛け布団などがかかると思わぬボタンの誤操作の原因となりますので、専用ポンプの上に物を置かないでください。
- 二人以上で使用しないでください。落下・転落を招く恐れがあり事故の原因になります。また本来の性能を発揮できない恐れやマットレス破損の原因になります。



- 電源を入れてから30分は使用しないでください。空気が十分に入っていないため、期待した効果が得られません。
- ご使用になる前にマットレス内に空気が入っているか確認してからご使用ください。また専用マットレス表面の一部が極端に凹んでいたり、出っ張っているなど、異常と思われる場合はご使用を中止し、お買い上げの販売店または株式会社ケープへお問い合わせください。
- 専用マットレスの上で鋭利な物は使用しないでください。破損の原因等になることがあります。
- 専用マットレスにはヘッドアップセンサが内蔵されています。介助を行う際などに上から強い力が加わると身体が接触する恐れがありますので、注意してください。
- ご使用時、操作パネル部分の表面は少しあたたかくなりますが、故障(異常)ではありません。

## ■ スモールチェンジモード

スモールチェンジ用エアセルが膨張収縮することで、自動体位変換を行う機能です。

自動ヘッドアップ(31°以上)、クイックハードモードとの併用はできません。

- スモールチェンジボタンを押します。(ランプ点灯)
- 約3分後に右肩左足が持ち上がります。

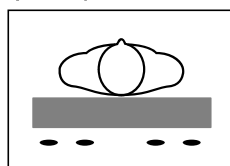
動作開始まで **約3分**

- スモールチェンジは背上げ角度30°までお使いいただけます。
- スモールチェンジをOFFにすると直ちにスモールチェンジ用エアセルの空気が排出されます。
- 停電時も同様にスモールチェンジ用エアセルの空気は直ちに排出されます。
- 31°以上の背上げ状態から、30°以下に移行すると自動でスモールチェンジモードに復帰します。(背上げ前がスモールチェンジモードONの場合)

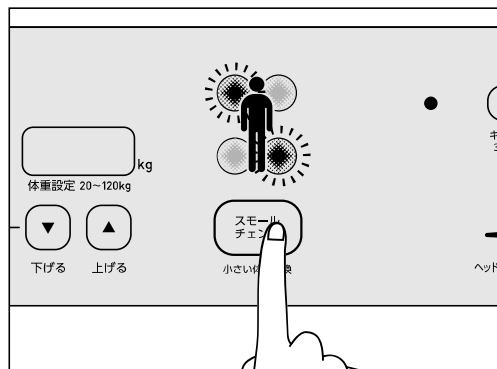
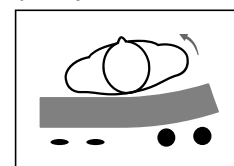
- 「自動ヘッドアップ対応機能」作動中は、スモールチェンジモードのON/OFFの設定ができません。
- スモールチェンジモード中にヘッドアップが検知された場合、自動ヘッドアップ対応機能が優先されます。
- スモールチェンジモードがONの場合でも、マットレス設置直後など、マットレス全体に空気が十分に入っていない状態ではスモールチェンジは動作しません。

膨張収縮動作 **約15分間隔**

(OFF)



(ON)



## ■ 自動ヘッドアップ対応機能

ベッドの頭側挙上が行われるとマットレスに内蔵されたセンサが角度を検知し、15°以上・31°以上・46°以上・61°以上の4段階で最適な内圧や動作に調整し、臀部の底づきを防止します。エアセルの膨張収縮(圧切替)は停止し、安定した体位を保つことができます。

圧切替、スモールチェンジモード(31°以上)、クイックハードモードとの併用はできません。

### 15°以上のヘッドアップが検出された場合

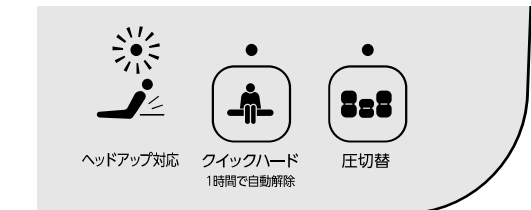
- 角度安定後約3秒で自動ヘッドアップ対応機能に切り替わります。(ランプ点灯)

内圧が整うまで **約3分**

- ヘッドアップ角度が15°未満の場合は、自動ヘッドアップ対応機能は作動しません。
- ヘッドアップ角度が15°以上から15°未満に移行すると、自動ヘッドアップ対応機能は解除され、直前の設定に復帰します。(安全のため、クイックハードモードには復帰しません)

**注意**

- ベッドのリモコン等に表示される背上げ角度と本品のセンサが検知する角度は異なる場合があります。
- ヘッドアップセンサの青いプラグが抜けた場合、エラーとなり、光サインが赤く点灯します。青いプラグをヘッドアップセンサ接続口に奥までしっかりと差し込んでください。
- ヘッドアップセンサが、-10°以下を検知した場合、エラーとなり、光サインが赤く点灯します。ベッドまたはマットレスを正常な角度に戻してください。
- ヘッドアップセンサの異常を示す、エラーコード「E04」



が表示された場合、ベッドがフラットな状態であれば、その他の機能は正常に使用できます。

- 「自動ヘッドアップ対応機能」作動中にヘッドアップセンサの異常によりエラーコード「E04」が表示された場合、機器側ではエラーコードが表示される直前の状態を保持します。この状態ではクイックハードモード、スモールチェンジモード(31°以上)の操作を受け付けなくなるため、ベッド(マットレス)をフラットな状態に戻して電源プラグの抜き差しを一回行い機器をリセットした後、必要に応じて各種のモードを使用してください。

※24～25ページの『故障かな?と思ったら』をご参照ください。

## ■ 圧切替設定

圧切替ON(ランプ点灯)のときは、エアセルが膨張収縮動作を行います。

圧切替OFF(ランプ消灯)のときは膨張収縮動作を停止し、静止状態になります。

自動ヘッドアップ、クイックハードモードとの併用はできません。

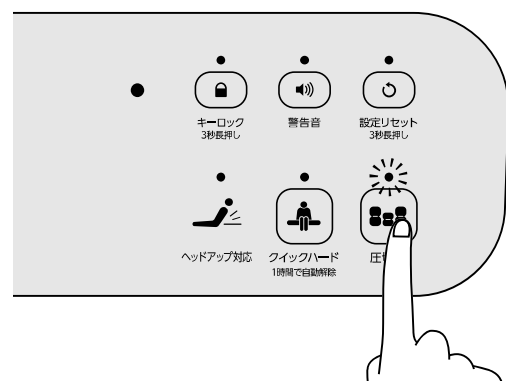
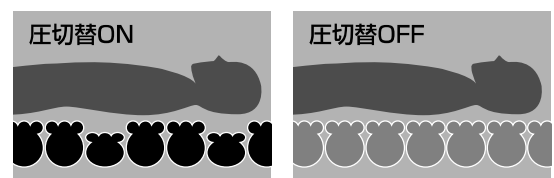
- 圧切替ボタンを押します(ランプ消灯)
- 約3分で内圧が整います。

内圧が整うまで **約3分**

- 圧切替を停止させると、自動的に圧切替には復帰しません。
- 再び圧切替を行いたい場合は、再度圧切替ボタンを押します。(ランプ点灯)
- 圧切替停止中に、自動ヘッドアップやクイックハードモードを使用した場合、解除後は圧切替停止(ランプ消灯)に復帰します。

**注意**

- 「自動ヘッドアップ対応機能」作動中は、圧切替のON/OFFの設定ができません。
- 圧切替停止中にヘッドアップが検知された場合、自動ヘッドアップ対応機能が優先されます。





## ■ クイックハードモードの設定

エアセルの内圧を高めて膨張収縮が停止し、ベッド上でケアを行う際の安定床面を確保できます。

圧切替、スモールチェンジモード、自動ヘッドアップとの併用はできません。

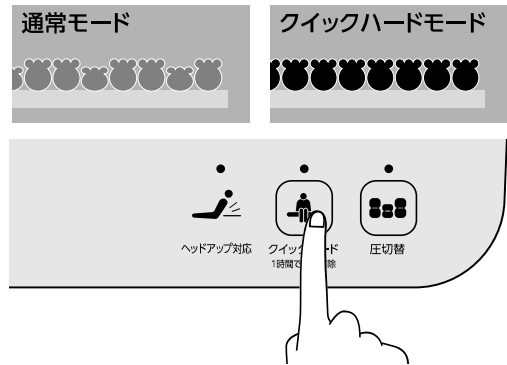
- 「クイックハード」ボタンを押します。(ランプ点灯)
- 約4分で内圧が整います。

内圧が整うまで **約4分**

- クイックハードモードは、約1時間で自動的に解除されます。

自動解除まで **約1時間**

- 途中で解除する場合は、再度「クイックハード」ボタンを押します。(ランプ消灯)
- 解除後は元の設定に復帰します。



- 自動ヘッドアップ対応機能作動中は、クイックハードモードの設定ができません。
- クイックハードモード作動中にヘッドアップが検知された場合、自動ヘッドアップ対応機能が優先されます。

各モードが使用できる背上げ角度範囲は次の通りです。

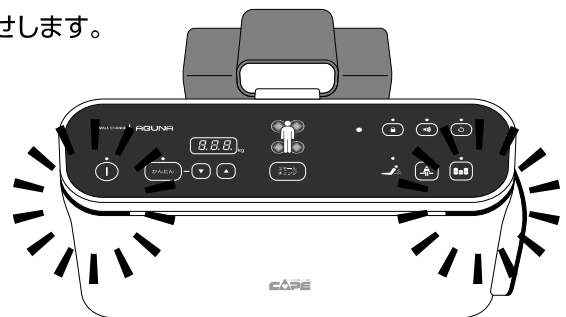
- 0°以上15°未満：圧切替、スモールチェンジモード、クイックハードモード\*
- 15°以上31°未満：自動ヘッドアップ、スモールチェンジモード
- 31°以上：自動ヘッドアップ

※クイックハードモードONのとき、圧切替、スモールチェンジモードは使用できません。

## ■ 安全お知らせ機能(光サイン&警告音)

ポンプ前面から側面の光サインにより動作状況を遠方から確認できます。正常作動中は、緑色に点灯します。

- 異常が生じた場合は、光サインの赤色点灯と警告音でお知らせします。
- 異常時には、操作パネルの体重設定表示部に、エラーコードが表示されます。エラーコードの内容についてはP.24～25の「故障かな?と思ったら…」を確認してください。
- 光量は居室の明るさに合わせて3段階で自動調光します。



### ■ 異常時に警告音(ブザー)を出したい場合

- 初期設定では警告音ONになっています。(ランプ点灯)
- 異常時に警告音(ブザー)でお知らせします。
- 解除する場合は、「警告音」ボタンを押します。(ランプ消灯)

### ■ 説明 ■

光サインが赤く点灯した場合の対処方法は、P24～25「故障かな?と思ったら…」をご覧ください。

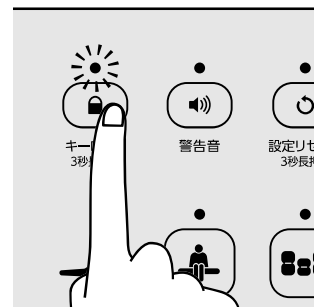
# 実際に使用しましょう(各種モード時)

## ■ キーロック機能

お子様や認知症の方などによる誤操作を防ぐことができます。

- 「キーロック」ボタンを3秒以上押し続けます。(ランプ点灯)
- 全てのボタン操作にロックがかかります。
- 解除する場合は、「キーロック」ボタンを3秒以上押し続けます。(ランプ消灯)
- ロックが解除されます。

何らかの原因でエラーコードが表示されている場合は、キーロック中でも警告音ボタンのみ操作できるようになっています。



## ■ CPR対応機能(緊急時エア排出機能)

- 送風チューブのカプラー部を専用ポンプから取り外します。
- 送風チューブからマットレス内の空気が排出されます。
- カプラーを外すとヘッドアップセンサプラグも同時に抜け、ヘッドアップセンサの異常を示すエラーコード「E04」が表示されます。
- 約25秒で療養者の背部が床面に底づきます。

背部が床面に底づくまで **約25秒**

※体重、体型によって底づくまでの時間が数秒前後する場合があります。

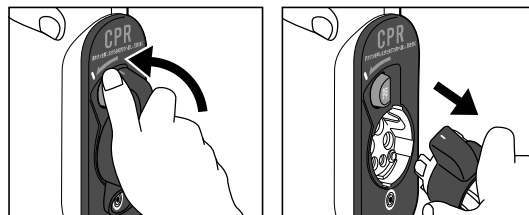
### CPR対応機能使用後の復帰方法

P.12参照

- カプラーの●印と接続口の●印が合う位置で、カプラーを奥まで差し込み、右(時計回り)に“カチツ”と音がするまで回して接続します。
- ヘッドアップセンサの青いプラグをヘッドアップセンサ接続口に差し込みます。
- リセットのため電源プラグの抜き差しを一回行ってください。
- 直前の設定が復帰します。

### ●取り外し方法

片方の手で専用ポンプをしっかりとおさえ、もう一方の手で赤いボタンを押しながらカプラー部を左回り(反時計回り)に回します。カプラーの●印と接続口の●印が合う位置まで戻し、まっすぐ手前に引き抜きます。



**注意**

送風チューブを引っ張らずに、必ずカプラー部を外してください。

## ■ メモリ機能

コンセントから電源プラグの抜き差しを行った場合でも、直前のモードや設定値に復帰します。ベッドの移動などの際も、再設定する必要はありません。

### 記憶される設定

- スモールチェンジモード
- かんたんモード/体重設定値
- 圧切替 ON/OFF
- 警告音 ON/OFF

### 安全上記憶されない設定

- クイックハードモード

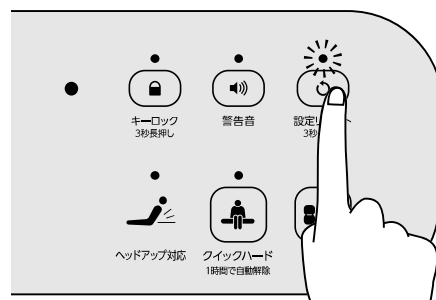
## ■ 設定リセット機能

メモリされた設定値を初期設定にリセットします。

- 「設定リセット」ボタンを3秒以上押し続けます。
- 初期設定が表示されていることを確認してください。

### 初期設定

- モード:かんたんモード ON、スモールチェンジモード ON
- 圧切替:ON ■ 警告音:ON



## ■ 停電時の対応方法



停電対策機能付き

スモールチェンジラグーナは、停電対策機能付きです。

停電の際には、特別な操作を行う必要はありません。

- 停電と同時に特殊なバルブが自動的にエア抜কেを防止し、マットレス全体の内圧を約14日間保持します。
- スモールチェンジ用エアセルは、停電と同時に空気を排出し、傾いたマットレスを自動で水平な状態にします。
- 電源復旧後、メモリ機能によって記憶された設定が復帰します。



注意

カプラーを外さないように注意してください。外してしまうと、エアが抜けてしまいます。

## お手入れ方法

※業務用機械での洗浄・乾燥・消毒、その他ご不明な点については、株式会社ケープまでお問い合わせください。

### 専用カバーのお手入れ

#### 洗濯

1

表面に付着した汚れを予め取り除いた後、専用カバーをマットから取り外します。

2

洗濯機で弱い洗濯ができます。洗濯機による洗濯、または手押し洗いをしてください。

3

低い温度でのタンブル乾燥ができます。乾燥機による乾燥、または陰吊り干しをしてください。

洗濯の際は、商品に取り付けられている品質表示ラベル(洗濯ラベル)をご参照ください。

#### 清拭

- 汚物(汚れ、便、血液等)を取り除いて、水または、中性洗剤を水で薄めたものでマットレスの表面を拭いてください。
- 消毒用エタノールを使用する場合は濃度70%以上83%以下、次亜塩素酸ナトリウム液を使用する場合は濃度1,000ppm(0.1%)以下での清拭が可能です。

#### お願い

- ドライクリーニング(石油系は除く)、オートクレーブは、表面のポリウレタン樹脂を傷めますので使用しないでください。
- タンブル乾燥機を使用する場合、槽内の詰めすぎ、長時間の乾燥に注意してください。
- 乾燥機による乾燥後は自然乾燥を行ってください。
- カバー損傷防止のため洗濯ネットを使用してください。
- アイロン、スチームプレスは絶対に避けてください。

注意

- 防水カバーを洗濯機で脱水する場合、防水部分に水が溜まることにより、洗濯機に負荷が掛かり故障や異常振動による転倒事故を招く危険があります。お客様の都合により洗濯機を使用される場合は、防水部分に溜まった水を大きめに取り除いた上で、脱水を行ってください。
- 次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、使用する次亜塩素酸ナトリウム液の使用法、注意書きをよく確認したうえで行ってください。
- 消毒液を利用した空間噴霧は、目や皮膚などへの刺激、および吸入により人体へ影響を及ぼす可能性があると考えられています。取扱いには十分ご注意ください。

## 専用ポンプのお手入れ

- 1 専用ポンプの電源ボタンを「OFF」(電源ボタン、光サインのランプが消えた状態)にして、コンセントから電源プラグを抜きます。
- 2 布に薄めた中性洗剤かぬるま湯(50℃以下)を含ませ、固くしぼります。
- 3 2の布で、専用ポンプの表面の汚れをふき取ります。
- 4 専用ポンプ背面にあるエアフィルターが汚れている場合は、エアフィルターを交換してください。

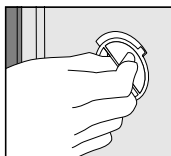
■ 専用ポンプが汚れてしまったとき  
ヒビテン溶液、エタノールのそれぞれ希釈した溶液を布に含ませ、拭いてください。

お願い ベンジン、シンナー、クレンジールなどは、材質を傷めますので使用しないでください。

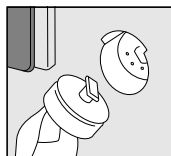


- 専用ポンプの電源プラグは、必ず日本国内の家庭用コンセント(AC100V,50Hz/60Hz)に確実に差し込んでお使いください。これ以外の電圧で使用すると、火災事故や故障の原因となります。また濡れた手で、電源プラグの抜き差しを行わないでください。感電事故や故障の原因となります。
- 長期間使用しないときや専用ポンプのお手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから外してください。火災事故や感電事故、故障の原因となります。
- 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたり、破損させたり、ドアに挟んだりしないでください。またコンセントから電源プラグを抜く際には、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や火災事故、故障の原因となります。

## エアフィルター交換の方法



フタをつまみ、左側に90°回転させ、引き抜きます。



フィルターを交換します。

交換用フィルターについてはお買い上げの販売店もしくは株式会社ケーブまでお問い合わせください。

## 専用マットレスのお手入れ

- 1 専用ポンプから送風チューブを外します。エアセル内の空気を抜いてください。(別売の急速ポンプKUROを使うと便利です。)
- 2 専用カバーとヘッドアップセンサを取り外します。
- 3 エアセルおよびスモールチェンジ用エアセルを掃除します。下記の「洗浄方法」をご覧ください。
- 4 ベースマット(ブレスエアー®)を取り外し、汚れを取り除きます。
- 5 日陰で吊り干し、自然乾燥させます。
- 6 お手入れ後、ベースマット、ヘッドアップセンサ、専用カバーを取り付けます。

### 洗浄方法

中性洗剤を水で約20倍に薄め、洗剤を含ませてふき取ってください。汚れがひどいときは、少量の水をかけて柔らかいブラシで軽くこすってください。

お願い ベンジン、シンナー、クレンジールなどは、材質を痛めますので使用しないでください。

### ■ 説明 ■

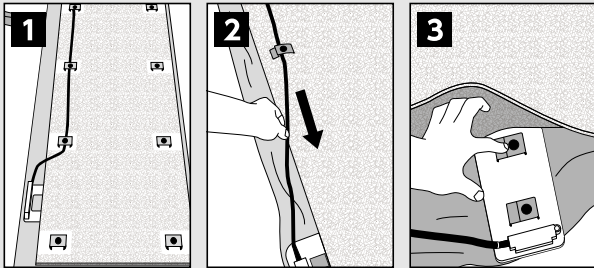
マットレス内部は専用カバーにより覆われていますので、頻繁な掃除の必要はありません。



- 専用マットレスから送風チューブを取り外さないでください。接続できなくなったり、接続部が破損したりする恐れがあります。
- ヘッドアップセンサを落下させたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
- 専用マットレスのお手入れや洗浄を行う際は、必ずヘッドアップセンサを取り外してください。
- 専用マットレスは、数種類の素材により構成されており、素材の特性上、変色や色移り、風合い変化などの経年変化が生じる場合があります。また、お客様のご使用環境や使用頻度などお取り扱い状況により、変化の進行状態は異なります。なお、変色や色移り、風合い変化など経年的要因による変化が生じた場合でも品質・機能に影響はありません。

## ヘッドアップセンサの取り扱い方法

### ●取り外し方法

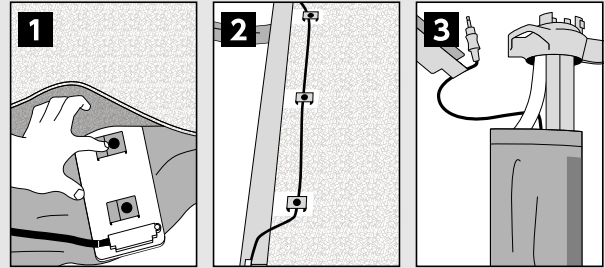


1 マットレス底面のファスナーを開きます。

2 足元側からヘッドアップセンサに向かってコードを引き抜いていきます。

3 ヘッドアップセンサの固定ベルト(2カ所)を外し、センサを引き抜きます。

### ●取り付け方法

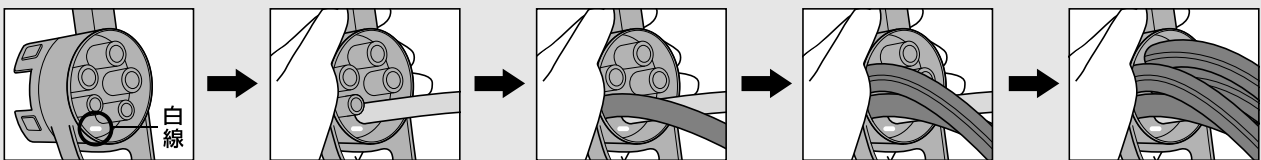


1 ベースシート底面の固定ベルト(2カ所)でセンサを固定します。

2 ベースマット固定用ベルト(3カ所)にコードを通します。コードは送風チューブ口から引き出します。

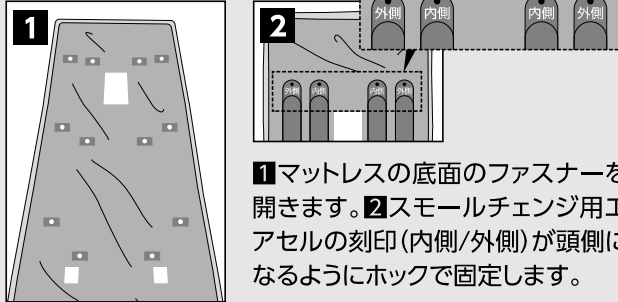
3 チューブカバーの中を通し、適切な長さになるように調節します。

## カプラーの取り付け方法 万が一、送風チューブからカプラーが外れた場合は、以下の通りに差し直してください。



## スモールチェンジ用エアセルの取り付け方法

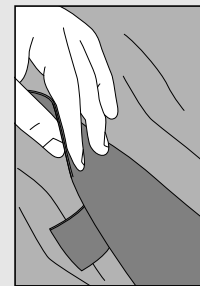
### ●取り付け方法



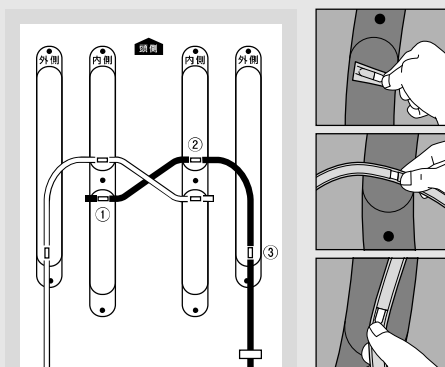
1 マットレスの底面のファスナーを開きます。2 スモールチェンジ用エアセルの刻印(内側/外側)が頭側になるようにホックで固定します。

### ■お願い■

- スモールチェンジ用エアセルの内側/外側を間違えて取り付けないでください。
- スモールチェンジ用エアセル(内側/外側)は、それぞれ3つのホックで固定をしてください。  
(注)スモールチェンジ用エアセル(外側)の中央ホックのとめ忘れにご注意ください。

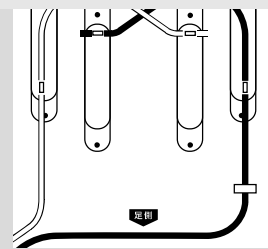


## スモールチェンジ用送風チューブの取り付け方法



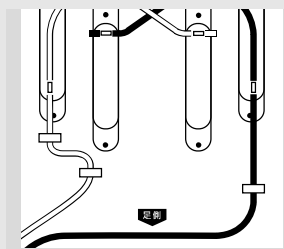
(注)スモールチェンジ用送風チューブは、ねじれないように、3カ所のコネクタに組み付けてください。

### 840/900/1000サイズ



スモールチェンジ用送風チューブ(黒)のみ、ベルト(1カ所)を通してください。

### 840ショート/900ショートサイズ



スモールチェンジ用送風チューブ(白)は、2カ所、スモールチェンジ用送風チューブ(黒)は、1カ所のベルトを通してください。

※ベースシートに貼付されている見本ラベルをご参照ください。

## こまめに点検しましょう

- ご使用中は、できるだけ1日に1回は、エアマットレスの状態を確認することをお勧めします。エアセルに適切に空気が入っているか、各モード設定の状態をご確認ください。なお、設置場所を変えた場合や、停電などで一時的に作動が停止した場合などは、その都度状態を確認してください。
- 異常や変化が感じられるとき、また困ったこと、わからないこと、不安なことが生じた場合には、P.24～25「故障かな?と思ったら…」をご覧ください、確認してください。

### 点検ポイント 1

P.14参照

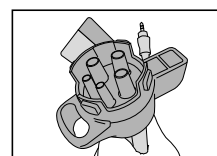
療養者の体重に合わせた設定になっていますか?または、エラーコードが表示されていませんか? 設定した数値が表示されていることを確認してください。



### 点検ポイント 6

P.12参照

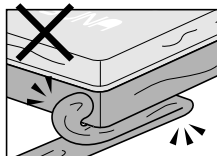
カプラーが破損していませんか? カプラーのパイプ部分に割れやカケ、ひびが入っていないか、確認してください。



### 点検ポイント 2

P.5参照

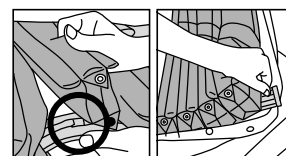
送風チューブが折れ曲がっていませんか? 送風チューブのねじれや折れ曲がりを直してください。



### 点検ポイント 7

P.10参照

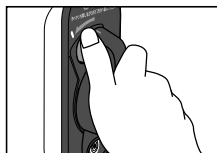
全てのエアセルが送風チューブと繋がっていますか? エアセル下側のTコネクターが送風チューブに差し込まれているか確認してください。



### 点検ポイント 3

P.12参照

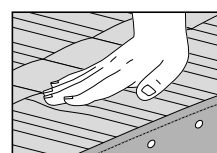
カプラーはポンプに正しく差し込まれていますか? カプラーがしっかりと接続されているか確認してください。



### 点検ポイント 8

P.14参照

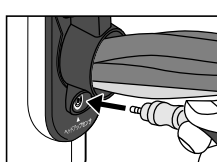
エアセルが破損していませんか? 専用カバーを開き、エアセルを手で触り空気が入っているか、確かめてください。



### 点検ポイント 4

P.12参照

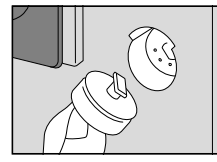
ヘッドアップセンサプラグが外れていませんか? 青いプラグがポンプに奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



### 点検ポイント 9

P.20参照

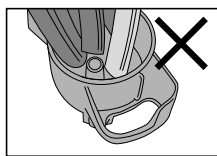
エアフィルターに汚れが溜まりすぎていませんか? 汚れが溜まっている場合は、新しいフィルターと交換してください。



### 点検ポイント 5

P.12参照

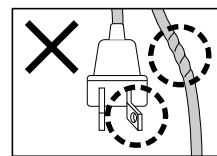
送風チューブが外れていませんか? 送風チューブがカプラー裏の所定の挿入パイプに差し込まれているか確認してください。



### 点検ポイント 10

P.6参照

電源コード・プラグは破損していませんか? 破損している場合は、メーカーに点検・交換を依頼してください。



使用環境や頻度により、エアマットレス・ポンプは摩耗、劣化します。摩耗、劣化した状態で使い続けると、思わぬケガをする恐れがあります。詳しい点検をご希望される場合は、お買い上げの販売店または株式会社ケーブにお問い合わせください。

## 保管方法

ご使用を止め、保管される場合は以下の手順で保管してください。

- 1 専用ポンプの電源ボタンを「OFF」(電源ボタン、光サインのランプが消灯した状態)にして、コンセントから電源プラグを抜きます。
- 2 専用ポンプから送風チューブのカプラー部を外し、エアセル内の空気を抜いてください。
- 3 P.19～21「お手入れ方法」の内容に従って汚れを落とします。
- 4 専用マットレス、専用カバーは折りたたみ、お届け時に入っていたビニール袋に入れます。
- 5 専用ポンプは電源コードを束ね、ポンプフックを外してお届け時に入っていた発泡シートに入れます。
- 6 それぞれを、お届け時に入っていた箱に納めて、保証書(本取扱説明書)と共に保管します。

### お願い

- カプラーとヘッドアップセンサに強い衝撃を与えないでください。破損する恐れがあります。
- 落下しないよう、安定した所に置いてください。
- 箱がつぶれるような重い物を、上に載せないでください。
- 湿気の少ないところに保管してください。
- ポンプ破損の恐れがありますので、落下させないようにご注意ください。

## 破棄方法

各パーツを素材ごとに分け、各行政のゴミ分別方法に従って廃棄してください。

# 故障かな?と思ったら...

症状	考えられる原因
電源ランプが点灯しない(=電源が入らない)	電源プラグがコンセントに入っていない 電源が入っていない ヒューズが切れている 電源(AC)コードが断線している
体重設定が表示されない	かんたんモードに設定されている
光サインが赤く点灯している	いくつかの原因が考えられます(下記を参照してください)
エラーコード「E01」が表示されている(圧力センサの異常)	送風チューブが折れ曲がっている 圧力センサが異常な動作を起こした
エラーコード「E02」が表示されている(電磁弁の異常)	送風チューブが折れ曲がっている 電磁弁が異常な動作を起こした
エラーコード「E03」が表示されている(エアセルの内圧低下)	カプラーが正しくポンプに取り付けられていない カプラーから送風チューブが外れている 送風チューブが折れ曲がっている ポンプからエアが出ていない カプラーが破損している ポンプのカプラー接続口からOリングが外れている エアセルのTコネクターが送風チューブから外れている 送風チューブのチューブキャップが外れている エアセルがパンク・破損している CPR対応機能(緊急時エア抜き機能)を使った カプラーを一時的に外して戻した エアフィルターが詰まっている
エラーコード「E04」が表示されている(ヘッドアップセンサの異常)	ヘッドアップセンサが正常に取り付けられていない ヘッドアップ角度が異常な角度になっている ヘッドアップセンサのコードが断線している ヘッドアップセンサの青いプラグが破損している ヘッドアップセンサが故障している マットレスが正しい位置・向きに設置されていない
エラーコード「E05」が表示されている(スモールチェンジ用電磁弁の異常)	送風チューブが折れ曲がっている スモールチェンジ用の電磁弁が異常な動作を起こした
エラーコード「E06」が表示されている(スモールチェンジ用エアセルの内圧低下)	カプラーが正しくポンプに取り付けられていない カプラーから送風チューブが外れている 送風チューブが折れ曲がっている ポンプからエアが出ていない カプラーが破損している ポンプのカプラー接続口からOリングが外れている スモールチェンジ用エアセルのコネクターが送風チューブから外れている スモールチェンジ用エアセルがパンク・破損している カプラーを一時的に外して戻した エアフィルターが詰まっている
マットレスが膨らまない	電源プラグがコンセントに入っていない 電源が入っていない 上記以外の場合は、各エラーコードの欄を参照ください
マットレスが硬すぎる	体重設定が誤っている(重い設定になっている) 自動ヘッドアップ対応機能、クイックハードモードになっている
マットレスが柔らかすぎる	体重設定が誤っている(軽い設定になっている)
エアセルが3本に1本間隔(2本置き)で空気が入っていない	圧切替による適正な作動です
エアセルの空気が抜ける間隔が2本置きではない	エアセルのTコネクターが送風チューブから外れている エアセルがパンク・破損している 自動ヘッドアップ対応機能、クイックハードモードになっている 圧切替がOFFになっている
マットレスが膨張収縮しない	自動ヘッドアップ対応機能、クイックハードモード、圧切替がOFFになっている
スモールチェンジが動作しない	スモールチェンジがOFFになっている 背上げを行っている クイックハードモードがONになっている ヘッドアップセンサのプラグが抜けている エラーが発生している
警告音がとまらない	警告音ボタンを解除し、各エラーコードの表示に従って対応してください
操作パネルが操作できない	キーロック、自動ヘッドアップになっている エラーが発生している(E01)
操作パネルの表面が熱くなる	ご使用時、表面が少しあたたかくなりますが、故障(異常)ではありません
光サインの明るさが変わる	居室の明るさに合わせた自動調光による適正な作動です
ポンプの音が異常に大きい	ポンプの上にものが乗っている ポンプが他のものに接触している ポンプが振動しやすいものの上や斜めに置かれている ポンプの内部で部品が破損している
停電が発生した	





対処方法	本書の参考ページ
電源プラグをコンセントに差し込み、電源ランプの点灯を確認してください	P.13
電源ボタンを押し、電源ランプの点灯を確認してください	P.13
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
療養者の体重が40~60kgの場合は、そのままご使用いただけます。または、体重設定ボタンを押して体重設定をしてご使用ください	P.14
送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
電源(AC)コードを抜き差ししてください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
電源ボタンを一度OFFにして、再度ONにしてください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
カプラーを専用ポンプの接続口にしっかりと接続してください	P.12
送風チューブをカプラーの所定の場所にしっかりと差し込んでください	P.12
送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	P.12
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
全てのエアセル、Tコネクターを送風チューブに差し込んでください	P.10
チューブキャップを送風チューブに差し込んでください	
パンクしているエアセルを交換してください	P.18
カプラーとヘッドアップセンサを接続し、コンセントから電源プラグを一度抜き差ししてください	
コンセントから電源プラグを一度抜き差ししてください	P.20
エアフィルターを交換してください	
電源ボタンを一度OFFにして、再度ONにしてください	
ヘッドアップセンサの青いプラグを所定の場所に奥までしっかりと差し込んでください	P.12
ベッド(マットレス)を正常な角度に戻してください	P.16
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
マットレスを正しい位置・向きに設置してください	P.10
送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
電源ボタンを一度OFFにして、再度ONにしてください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
カプラーを専用ポンプの接続口にしっかりと接続してください	P.12・21
スモールチェンジ用の細い送風チューブ2本をカプラーの所定の場所にしっかりと差し込んでください	P.12
送風チューブを伸ばし、空気の流れを遮断しないようにしてください	P.5
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	P.12
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
スモールチェンジ用エアセルのコネクターを送風チューブに差し込んでください	P.21
パンクしているエアセルを交換してください	
コンセントから電源プラグを一度抜き差ししてください	
エアフィルターを交換してください	P.20
電源プラグをコンセントに差し込んでください	P.13
電源ボタンを押し、電源ランプの点灯を確認してください	P.13
体重設定を適正に行ってください	P.14
左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.16・17
体重設定を適正に行ってください	P.14
そのままご使用ください	P.16
全てのエアセル、Tコネクターを送風チューブに差し込んでください	P.10
パンクしているエアセルを交換してください	
左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.16・17
圧切替が必要な場合は圧切替をONにしてください	P.16
左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.16・17
スモールチェンジをONにしてください	P.15
背上げ角度を30°以下にしてください	P.15・16
クイックハードモードを解除してください	P.15・17
ヘッドアップセンサのプラグを差し込んでください	P.12・16
各エラーの項目を確認してください	
それでも問題が解決できない場合は、お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	P.17
左記のモードが必要でない場合は、モードを解除してご使用ください	P.16・18
自動ヘッドアップ作動中に、クイックハードモードにならないのは故障ではありません	P.16・17
エラーが発生している場合は、「E01」の項目を参照してください	
そのままご使用ください	P.11・15
そのままご使用ください	P.17
上に乗っているものを取り除いてください	P.11・15
接触しているものから離してください	P.11・15
ポンプを水平で安定した場所やベッドのフットボードに立てた姿勢で設置してください	P.11
お買い上げの販売店もしくは株式会社ケープまでお問い合わせください	
そのままご使用ください	P.19

## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

### 保証書

#### 保証書(本書添付)

- この製品には、保証書を添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
- 保証書に記載している内容は必ずお読みください。

### 保証期間

保証期間は、マット・ポンプともにお買い上げ日より3年間です。

### 修理依頼について

まず、「故障かな?と思ったら…」(P.24~25)を参照して考えられる原因をお調べください。それでも異常があるときは、製品のご使用を止め、お買い上げの販売店または株式会社ケーブにお問い合わせください。

#### 保証期間中は…

- 正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または株式会社ケーブが修理させていただきます。
- 修理依頼される際は、保証書をご提示ください。
- また、保証書記載2の有料修理に当てはまる場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご確認ください。

#### 保証期間経過後は…

- お買い上げの販売店または株式会社ケーブにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。

## 仕様

### スモールチェンジラグーナ

〈セット内容〉 ●専用マットレス (専用カバー付属) ●専用ポンプ	タイプ	840	900	840/SHORT	900/SHORT	1000
	品番	CR-700	CR-703	CR-705	CR-707	CR-711
専用マットレス (専用カバー付属)	品番	CR-702	CR-704	CR-706	CR-708	CR-712
	サイズ(幅×長×厚cm)	84×192×13.5	90×192×13.5	84×180×13.5	90×180×13.5	100×192×13.5
	重量(kg)	8.2	8.6	7.8	8.2	9.3
	材質	エアセル/ポリウレタンフィルム表面シボ加工 <b>抗菌</b> ベースマット/三次元スプリング構造体プレスエアア <sup>®</sup> <b>制菌</b> ヘッドアップセンサ/ABS樹脂 ベースシート/側面:ナイロンオックス、下面:ポリエステルメッシュ すべり止め布付き				
エアセル本数	21本	21本	20本	20本	21本	
専用カバー (専用マットレス付属品)	品番	CH-702	CH-704	CH-706	CH-708	CH-712
	材質	ポリウレタンフィルムラミネート加工布 <b>防水</b> <b>透湿</b> <b>制菌</b> <b>伸縮</b> <b>防炎</b>				
プラス専用パッド (プラス専用 マットレス付属品) (別売)	品番	CR-549				
	サイズ/重量	幅60×長60×厚1cm/1.0kg				
	材質	カバー/ポリウレタンフィルム表面シボ加工 <b>抗菌</b> 中身/ポリエステル100% コントローラー/ABS樹脂				
	その他	定格/AC100V、40W、50/60Hz ACコード長さ:4m				
専用ポンプ	品番	CR-701				
	サイズ/重量	幅36.5×高25.0×奥行8.7cm(ポンプフック装着時/幅36.5×高28.0×奥行15.7cm)/3.4kg				
	材質	ケース/ABS樹脂、フック/POM樹脂				
	その他	定格/AC100V、12W、50/60Hz ACコード長さ:4m				



- ベッドのサイズに合うマットレスを使用してください。
- マットレスのサイズは基本寸法であるため、マット内圧の状態やご使用状況により多少異なる場合があります。

メモ欄

# 保証書

本書は、日本国内において取扱説明書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に本書記載内容にて無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときには、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ずご記入の有無をご確認ください。  
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- 1.本書はスモールチェンジラグーナ専用ポンプ及びスモールチェンジラグーナ専用マットレスの保証書とさせていただきます。
- 2.保証期間内であっても、以下の場合には有料修理、または保証対象外となります。
  - ア)取扱または操作が不適当であったため生じた故障。移動、落下等による故障および損傷。
  - イ)当社(株式会社ケーブ)以外での改造が加えられた場合。
  - ウ)火災、地震、水害、落雷、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
  - エ)接続している他の機器が、本製品の仕様に適合していないために生じた故障および損傷。
  - オ)本製品以外に故障の原因がある場合。
  - カ)保証書のご提示がない場合。および、保証書の所定事項に記入がない場合。  
あるいは字句の書き換えが認められた場合。
  - キ)ポンプ本体に製造番号(シリアルナンバー)の表示がない、もしくは確認ができない場合。
- 3.本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合は、株式会社ケーブにご相談ください。

無料修理保証期間(お買い上げ日)	年	月	日より	3年間
※お客様				
お名前	TEL			
ご住所				
※取扱店				
店名/住所/TEL				

株式会社 **ケーブ**

〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町2-7  
TEL:046-821-5511(代) FAX:046-821-5522  
ホームページ: <https://www.cape.co.jp/>  
E-mail: [lovingcare@cape.co.jp](mailto:lovingcare@cape.co.jp)